

町政を問う

溝口小大規模改修に着工



岸本小学校

細田 学校統合の結論が見い出せないまま、溝口小の耐震化、大規模改修によろやく着工した、岸本小は今年度設計の予定だが、いずれの小学校も統合を前提とした工事になるか。八郷小、二部小についても耐震化工事は待ったなしの状況である。



細田 栄

学校の耐震化待ったなし 町長 統合に関わらず実施する

町長 統合を前提とした大規模改修になる。八郷小、二部小は統合が決定してからでも耐震化の国庫補助対象になるが改修後二〜三年で統合となると大規模改修より、耐震性能の向上に重点を置いた工法を検討している。

細田 教育委員会では、学校統合と耐震化工事をセットにして検討してきたため、統合の結論が出るまで耐震化が遅れに遅れている。町長は統合に関わらず耐震化は、やること明言されたが、方針変更されたか。

町長 基本的

町長 教育委員会では将

な方針にブレはないが、統合を目前にして大掛かりな耐震工事や大規模改修は、行政のモラルとして慎まなければならぬ。しかし、子供達の安全は確保すべきであり、後利用も含めて、減築による耐震性能強化なども検討したい。また、二部小体育館については地域施設として立て替え新築を検討している。

来的には、中学校も統合すべきという考えである。しかし、早期の統合は難しいと思うので、耐震性能の向上を考えたい。

溝口中の耐震化を急げ

細田 中学校については、町民の皆様の意識から早期の統合は難しい。当期の間は現校舎を利用することになるので溝口中の耐震化を急ぐべきではないか。

町民の森 整備事業

細田 土地開発公社が所有する工業団地十四ヘクタールの土地を町民の森に用途変更するにあたり、約三億円の不良資産解消が先決であり、過大な投資にならないように。

また、地元集落の意向も充分聞くべきである。

町長 工業団地からの用途変更の期間は別に定めがない。過大な投資をする考えはない。地元代表の方も検討委員会に入れた



上野つつみ